

2020(令和2)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）
地域行政学科・経済学科・企業システム学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉)
【選択科目：倫 理】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2020(令和2)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

地域行政学科・経済学科・企業システム学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉) 【倫理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ニッコロ・マキアヴェリは、フィレンツェの小貴族の子として生まれ、フィレンツェ共和国政府で外交などに携わり活躍した A 世紀の思想家である。

マキアヴェリは、分裂と抗争が続く祖国 [①] を統一する新しい君主の出現を期待して、主著『君主論』を著した。彼はの中で、来るべき君主は善悪ではなく、人間の B を観察し、民衆の行動を予測することで C の維持に努めねばならないと主張した。というのも、信義を守る君主が必ずしも大きな事業を成し遂げているとは言えないからである。(このことから派生して、「[②] のためには [③] を選ばない」という D 主義を指してマキアヴェリズムと呼ぶことがあるが、それはマキアヴェリの思想と必ずしも同一ではない。)

したがって、マキアヴェリにおいて [④] は宗教や道徳から独立した人間的活動のひとつであり、その意味で [④] 学も独立の学問でありうる。ゆえにしばしばマキアヴェリは、近代 [④] 学の祖であると言われる。

問1 上の文章の [①] ～ [④] に最も当てはまる語句あるいは地名を記入しなさい。
(各2点)

問2 空欄 A に当てはまる数字として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 12 - 13
- (イ) 13 - 14
- (ウ) 14 - 15
- (エ) 15 - 16
- (オ) 16 - 17

問3 空欄 **B** に当てはまる語句として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 尊厳
- (イ) 意志
- (ウ) 本性
- (エ) 知性
- (オ) 想像力

問4 空欄 **C** に当てはまる語句として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 外交
- (イ) 徴税
- (ウ) 軍事力
- (エ) 教養
- (オ) 政権

問5 空欄 **D** に最も当てはまる語句を漢字四文字で記入しなさい。(4点)

問6 次の(ア)～(オ)の中からマキアヴェリの同時代人として最も適切な人物を一つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- (ア) デカルト
- (イ) エラスムス
- (ウ) ホッブズ
- (エ) トマス＝アクィナス
- (オ) ルソー

問7 マキアヴェリは『君主論』において「君主は、野獣の気性を、適切に学ぶ必要があるのだが、このばあい、野獣のなかでも、狐とライオンに学ぶようにしなければならない」(池田廉訳『新訳 君主論』中公文庫、2015年、103頁)と述べている。では、なぜ君主は、狐とライオンに学ばねばならないのか。マキアヴェリにおけるその理由を70字以内で説明しなさい。(7点)

Ⅱ. 次の文章は 18 世紀ドイツの哲学者 I. カントについて記述したものである。これを読んで後の問いに答えなさい。

(A) においてカントは、ものごとを認識する能力である (①) 理性について考察した。カントによれば、ものごとを認識するためには、狭義の理性である (②) と感覚が協働しなければならない。感覚は雑多な印象を与えるだけであり、それだけでは認識は成立しない。(②) がそうした印象に対して、思考の枠組みである (③) をあてはめることによって初めて、認識が成立する。カントのこうした考え方は、認識とは私たちの外にある対象をそのまま受け入れることであるという従来の認識観を根本的にくつがえすものであった。カントはこの変革を、天文学における天動説から地動説への転換になぞらえて (④) と呼んだ。

他方、(B) においてカントは、善悪を判断し行為する能力である (⑤) 理性について考察した。もし私たちが感情や欲望のままに動かされるだけなら、そこに自由はない。カントによれば、そうした衝動を拒否し、理性の立てる (⑥) 法則に従って行為することは (⑦) であり、この (⑦)こそが人間の自由である。カントは、このような意味での自由の主体を (⑧) と呼び、その一人ひとりが (⑧) である人間を、他のもののための手段としてのみ扱ってはならず、行為の目的として尊重しなければならないと主張した。(⑧) が互いを目的として尊重しあう理想の共同体は (⑨) と呼ばれたが、(C) においてカントはこの共同体を世界規模の理想社会にまで拡張し、国家連合体をつくる必要があると説いた。この思想は、のちに国際連盟や国際連合の理念として受け継がれた。

問 1 上の文章の (①) ～ (⑨) に最も当てはまる語句を記入しなさい。(各 2 点)

問 2 上の文章の (A) ～ (C) に入る書名を以下の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。(各 1 点)

【語群】

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| (ア) 『理性と実存』 | (イ) 『判断力批判』 | (ウ) 『純粹理性批判』 |
| (エ) 『理性の腐食』 | (オ) 『永遠平和のために』 | (カ) 『法の哲学』 |
| (キ) 『論理哲学論考』 | (ク) 『全知識学の基礎』 | (ケ) 『資本論』 |
| (コ) 『実践理性批判』 | | |

問 3 「理性」「吟味」「批判」という言葉を用いて、カントの哲学の特徴を 40 字以内で説明しなさい。(6 点)

Ⅲ. 次の各文章を読み、後の問いに答えなさい。

- (A) 聖徳太子は、飛鳥時代の政治家、思想家である。聖徳太子は、推古天皇の摂政となるなど、国政に深く関与し、天皇を中心とする中央集権国家の形成において中心的な役割を果たした。日本最古の成文法である十七条憲法は、聖徳太子が制定したと伝えられている。十七条憲法のなかでは、「(①)を以て(②)とし、忤^{もつ}ふることなきを宗とせよ」、「篤^{あつ}く(ア)三宝を敬え」などの考えが説かれている。
- (B) 奈良時代、仏教は(③)国家を目的とした国家仏教として、朝廷の保護・統制の下に置かれた。たとえば、聖武天皇によって、全国に(④)寺、(④)尼寺が建てられるなどしている。同時期には、唐から(⑤)が来日し東大寺に戒壇を開いたり、教典や教義の研究が(イ)南都六宗によって進められるなどした。
- (C) 平安時代、社会不安が増すなかで(ウ)末法思想が深まり、この思想を背景として民衆に浄土信仰が広まった。市聖や阿弥陀聖と呼ばれた(⑥)は、諸国を遊行しながら、浄土信仰を広めた。また、天台宗の僧である(⑦)は、「厭離穢土・欣求浄土」と説き、『往生要集』を著すなどして、社会に大きな影響を与えた。

問1 上の各文章(A)～(C)の(①)～(⑦)に入る最も適切な語句あるいは人名をそれぞれ答えなさい。(各2点)

問2 下線部(ア)三宝の具体的内容をそれぞれ漢字一字で三つ答えなさい。(順不同可、各1点)

問3 下線部(イ)南都六宗は、()宗、()宗、法相宗、俱舎宗、華嚴宗、律宗の六学派から成る。括弧内に入る最も適切な語句をそれぞれ答えなさい。
(順不同可、各2点)

問4 下線部(ウ)末法思想とは、どのような思想であるか。「正法」「像法」「救済」という言葉を用いて、60字以内で説明しなさい。(6点)

Ⅳ. 次の文章を読んで問いに答えなさい。

1、 2019年7月に行われた参議院選挙では、重度の障害をもつ候補者が当選し、注目された。国会議事堂でも体が不自由な人にとっての物理的な障壁を取り除く（①）化の対応が急がれている。また、2020年8月東京で開催される障害のあるトップアスリートによる世界最高峰の国際競技大会（②）においても（①）化が促進される機会になると期待されている。このように障害がある人もない人も全ての人が同じ市民として等しく地域社会でいきいきと生活できるという考え方を（③）という。

2、（④）とは、男女の性差に起因するあらゆる形態の差別や不平等に反対し、その撤廃を目指す思想と運動のことである。19世紀から1960年代までの（④）は、男性との同等の権利を要求し、女性の地位向上をはかる運動が主流であった。この動きは、世界に広がり、1979年に女子差別撤廃条約が国連総会で採択された。日本もこれに署名し、1986年には、働く場における女性の差別をなくすための法律である（⑤）法が施行された。さらに、1999年には、男女が互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現することを基本理念とした（⑥）法が施行された。

1970年代以降の（④）では、(A)ジェンダーという概念が重要となり、ジェンダーフリーの必要性が提唱されている。しかし、近年においても、ジェンダーに基づく偏見が十分に克服された社会とは言えない。

また、性のとらえ方については、従来のジェンダーや生物学的性別だけではとらえきれないこともあり、近年では(B)性的指向や性自認を考慮にいれたとらえ方が広がってきている。

問1 空欄（①）～（⑥）に最も当てはまる語句を記入しなさい。（各2点）

問2 下線部(A)について、ジェンダーの意味について説明し、ジェンダーに基づく偏見を乗り越えるための具体的な対策についての例を80字以内で述べなさい。（5点）

問3 下線部(B)について、性的指向や性自認を考慮にいれた性のとらえ方で、性的少数者の総称を何と言うか。アルファベット四文字で書きなさい。（2点）

